

学校教育におけるESDの課題と今後の方向性

2015／3／26

A: 面的拡大 B: 質的向上

A: 教育課程上の位置付け

1. 各教科等
2. 総合的な学習の時間
3. 各教科等と総合的な学習の時間との関連

B: 学習・指導方法

1. プロセスの充実
2. インタラクションの充実
3. リフレクションの位置付け

ESD (国立教育政策研究所)

“持続可能な社会づくりに向けて課題を見だし、それらを解決するために必要な能力・態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う”として

概念の形成

- ・多様性
- ・相互性
- ・有限性
- ・公平性
- ・連携性
- ・責任制

能力・態度の育成

- ・批判的に思考し、判断する力
- ・未来像を予測して計画を立てる力
- ・多面的、総合的に考える力
- ・コミュニケーションを行う力
- ・他者と協力する態度
- ・つながりを尊重する態度
- ・責任を重んじる態度

総合的な学習の時間と各教科等との比較

教科目標



学年目標



内容 (対象・活動、指導事項、
資質・能力・態度など)

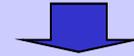


学習活動 (単元構想・単元計画)



(評価)

第1の目標



学校の目標 ⇨ 資質・能力・態度



内容

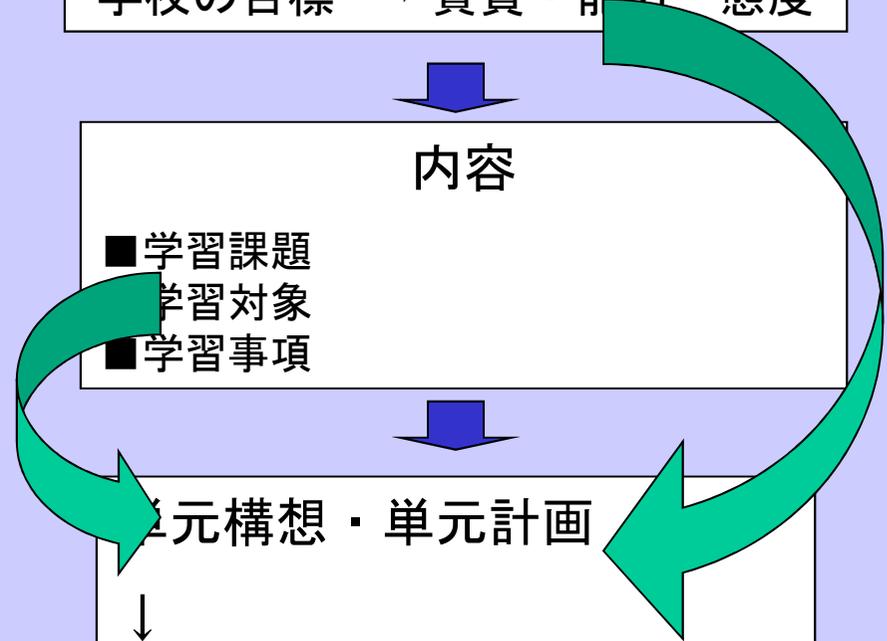
■ 学習課題
■ 学習対象
■ 学習事項



単元構想・単元計画



(評価)



総合的な学習の時間と各教科等との比較

- 例えば、■横断的・総合的な課題
- 児童生徒の興味・関心に基づく課題
- 人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題
(■職業や自己の将来)

内容 (対象・活動、指導事項、
資質・能力・態度など)

学習活動 (単元構想・単元計画)

- 例えば、■学習方法に関すること、
- 自分自身に関すること、■他者や社会とのかかわりに関することなどの視点

(評価)

第1の目標

学校の目標 ⇨ 資質・能力・態度

内容

■ 課題
■ 学習対象
■ 学習事項

単元構想・単元計画

(評価)

総合的な学習の時間と各教科等との比較

- 例えば、■横断的・総合的な課題
- 児童生徒の興味・関心に基づく課題
- 人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題
(■職業や自己の将来)

ESDの概念

内容 (対象・活動、指導事項、
資質・能力・態度など)

学習活動 (単元構想・単元計画)

- 例えば、■学習方法に関すること、
- 自分自身に関すること、■他者や社会とのかかわりに関することなどの視点

ESDの能力・態度

(評価)

第1の目標

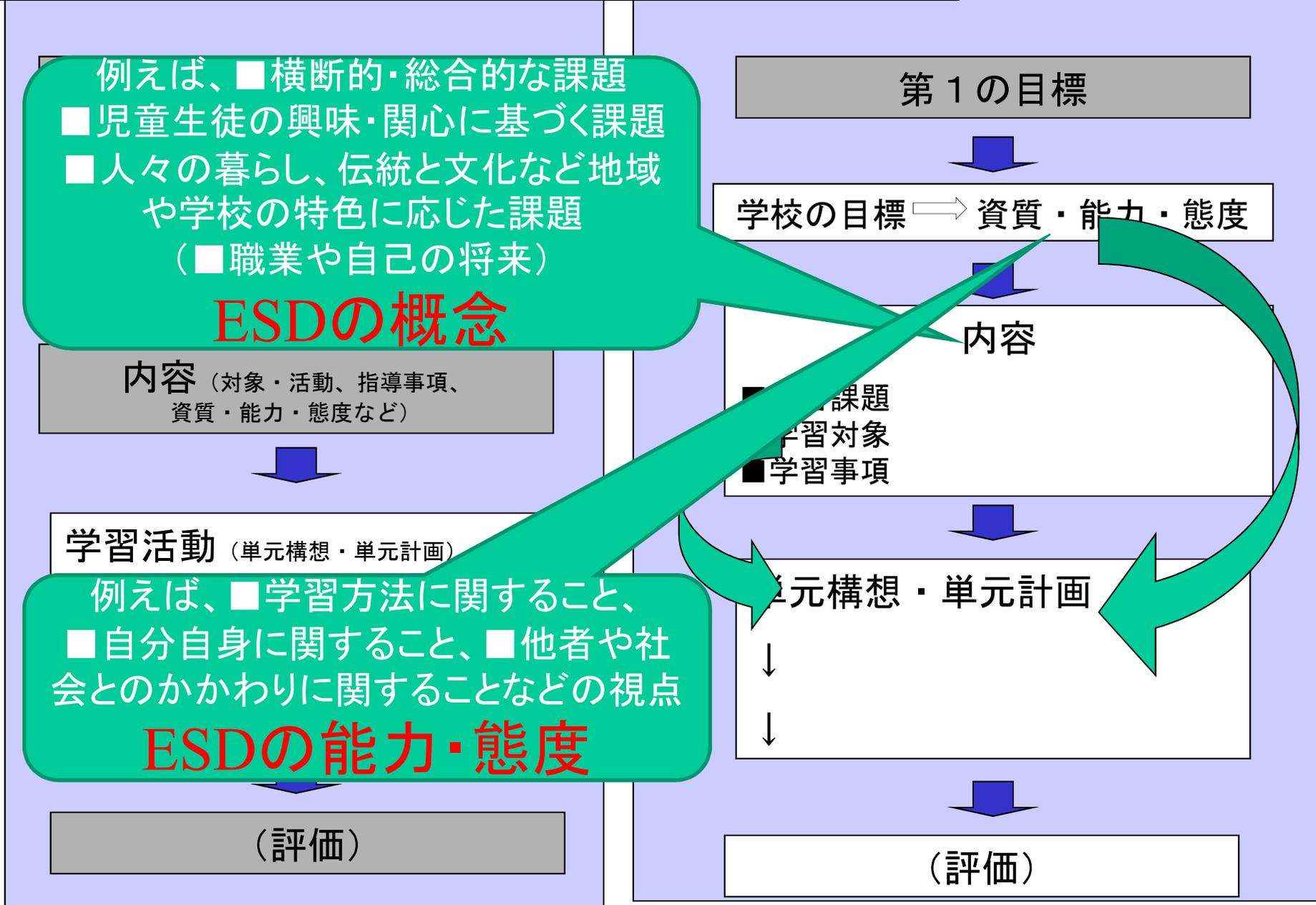
学校の目標 ⇨ 資質・能力・態度

内容

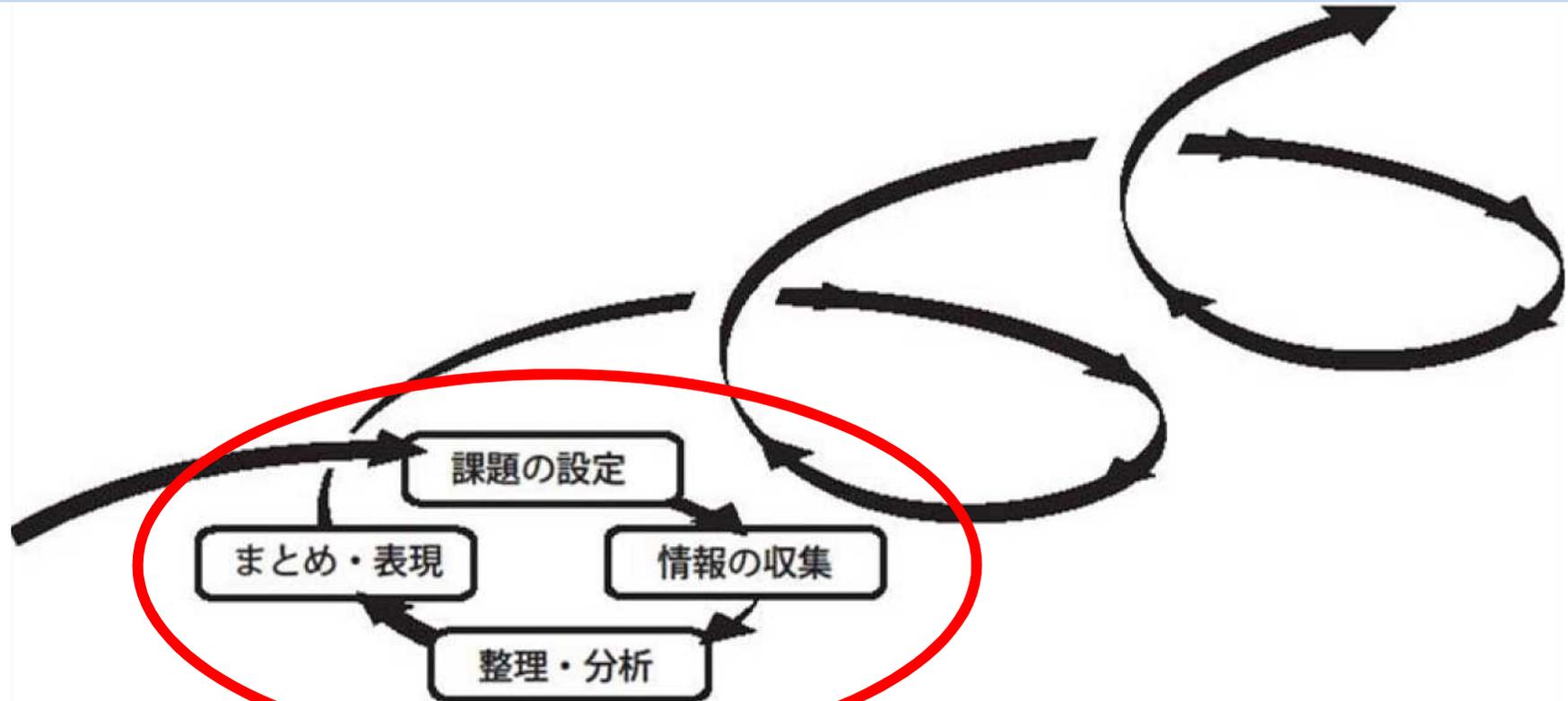
■ 課題
■ 学習対象
■ 学習事項

単元構想・単元計画

(評価)



総合的な学習の時間における 探究的な学習における児童・生徒の学習の姿



■ 日常生活や社会に目を向け、児童・生徒が自ら課題を設定する。

■ 探究の過程を経由する。

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

■ 自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される